

芸術

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	音楽探究	2	3年次・L1	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
Music Navigation （教育出版）		ファイル		音楽と他の芸術、社会との関わりなどに興味がある人。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
(1) 音楽作品や演奏、作曲家、楽器について理解を深めることができるようにする。 (2) 音楽作品や演奏について、根拠を明確にして批評することができるようにする。 (3) 音楽や音楽文化を尊重する態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
音楽作品や演奏、作曲家、楽器について理解を深めている。	音楽作品や演奏について、根拠を明確にして批評することができる。	音楽や音楽文化を尊重し、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	音楽史 楽典	音楽史について ルネサンス以前 ルネサンス バロック 古典派 ロマン派 近・現代 日本の音楽 民族の音楽 1学期のまとめ 楽典1 拍子	4	・音楽史の流れをつかむ。 ・担当した分野の調べ学習を行う。	1 2
				5	・紹介する作品を決定する。 ・作品の特徴を理解し、発表内容をまとめる。	
				6		
				7	・調べた内容をまとめて発表する。 ・互いの発表を評価する。 ・拍子とは何かを理解する。 ・拍子の種類、変化について理解する。	1 2 3 1 2 3
	2 学 期	課題研究 楽典	ソルフェージュ1 拍とリズムを感じ取る練習 課題研究 楽典2 楽曲の形式 和音 2学期のまとめ	9	・小節のまとまりを感じ取る。 ・音符の違いを正確に演奏する。 ・自分の課題を見付ける。 ・実技の準備をする。 ・練習をする。 ・課題をまとめる。 ・発表の準備をする。 ・調べ学習の内容をまとめる。	1 2 3 1 2 3
				10		
				11		1 2 3
				12	・課題研究の成果を発表する。 ・互いの発表を評価する。	1 2 3
3 学 期		学習のまとめ	1 2 3	・学習したことを確認する。	1 2 3	
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
規 準	○音楽作品や演奏、作曲家、楽器について理解を深めることができたか。		○音楽作品や演奏について、根拠を明確にして批評することができたか。		○音楽や音楽文化に関心をもち、主体的・協働的に学習に取り組もうとしているか。	

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	手段	・活動の様子 ・提出物の状況	・活動の様子 ・提出物の状況	・活動の様子 ・提出物の状況
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。	
学習上の留意点	・調べ学習したいことについて考えておく。 ・楽器の基本奏法を身に付けよう。			